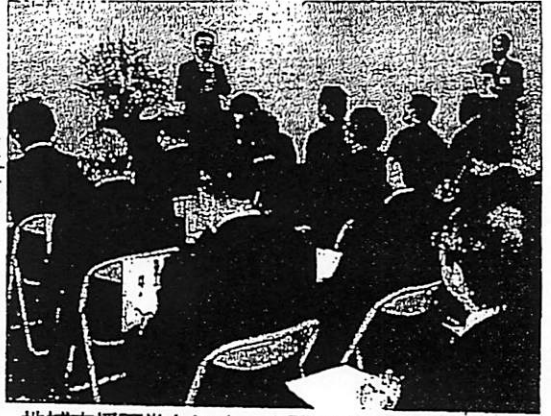


東北メディカル・メガバンク機構 石巻に初の出先機関



地域支援石巻センターの開所式であいさつする菅原センター長（奥）（10日、石巻市立町で）

東北大は10日、未来型医療による震災復興を目指す「東北メディカル・メガバンク機構」の初の出先機関となる地域支援石巻センターを開設した。

同センターは同機構の地域活動拠点として、震災を機に発症した病気の有無の調査や、3世代にわたる遺伝子レベルの健康情報収集などの役割を担う。来春までに住民に検査内容を説明する支援員を地元採用し、約15人体制で本格的に活動を始める。

同機構は1年以内に地域支援センターを県内10か所程度に設ける予定で、13日に気仙沼市、来年1月23日に岩沼市に開設する。

地域支援石巻センター長に就任した東北大の菅原準一教授（産婦人科）は「地域の状況を把握しやすくなり、よりの確な被災地の医療支援ができるようになる」と話している。

「12月13日付読売新聞より許可を得て転載」